

恒例の協会懇親会開催

保坂 庄司・木村 敏夫

5月29日夕 Diploma 授賞の後、G20 外相会合に出席し前週ブエノスアイレスより帰国されたばかりの外務省中前隆博中南米局長が、流暢に日西交えてのご挨拶と“Salud!”のご発声で、いよいよ懇親会が始まりました。



中前局長 ベロー大使 遠藤会長



永井理事長とベロー大使

平田耕治トリオの Tango 演奏が始まり一曲清聴、そしてサロン隣のダイニングルームにつながる引き戸が開かれ会食の始まりです。

昨年と並ぶ 150 人を超える大盛況です。ベロー大使、多くの館員方々、ご家族も FIESTA に参加いただきました。

料理は定番のチョリパン、エンパナーダ (Carne) に加えミラネサ (ミラノ風カツレツ) と Verdura (野菜) のエンパナーダをサーブ、メンドーサの VINO SANTA JULIA と Tango 演奏と相まって興も乗り、飛び入りタンゴダンスで益々盛り上がりです。



今年の懇親会は、Diploma 授与のサプライズあり、いつものようにタンゴ演奏でアルゼンチン気分が盛り上がり、Vino と Comidas で懐かしいアルゼンチンを思い出した人も多かったのではないのでしょうか。

2 月の女子ブラインドサッカー国際試合でアルゼンチン国旗を振りかざし応援いただいた、埼玉タンゴ愛好家の方々も飛び入りで踊られていました。



埼玉の和田結美さんと岡庭正三さん



Roberto&Lam、Studio TANGUERA

十代の若い参加者もちらほら。

若返りは当協会が常に目指しており、将来日亜友好親善の架け橋になってもらえればうれしい限りです。女子高校生の藤田真緒さんは AFS (American Field Service) の留学生として一年間サルタの現地校に就学し今春帰国したハイティーン。現地仕込みのシックな装いとノルオエステの土産話に周りの方々も喜び、親しく歓談されていました。

小学校 4 年生の松田空哉(たかや)君は、ピアノを習っていてタンゴ演奏にとっても興味深く聴き入っていました。



藤田真緒さんとペロー大使



松田空哉君とペロー大使



リハーサル前からいい雰囲気
を醸し出していた平田耕治トリオ。
期待通りの演奏を披露してくれ
ました。ペロー大使も聴き入って
いらっしゃいました。

左から

永易理恵 平田耕治 松本佑香

懇親会での収穫のひとつは、アルゼンチンにはこれまで無縁だった若い女性お二人(会員の友人)がVinoと大使公邸での洒落た雰囲気の中で一曲目のタンゴ演奏を聴いたとたん、「私たち決めました。アルゼンチンに行きます。」と即断。永らくアルゼンチンと遠ざかっている者には羨ましい限りです。

ご出席の会員の皆さん、お友達、皆さん、お互いの懇親を深める場となったようです。皆様、ご協力ありがとうございました。

(ほさか しょうじ：当協会常務理事)

(きむら としお：当協会業務執行理事)